

# 放射線量測定、業者支援などで 荒川区に申し入れ

## 共産党区議団

日本共産党荒川区議会議員団

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

434

2011年8月21日

発行 日本共産党区議団

3802-4627

fax 3806-9246

✉ arajcp@tcn-cat

v.ne.jp

町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

3895-0504

✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
「横山区議」で検索して下さい。



申し入れを行う共産党区議団

8月15日、日本共産党荒川区議団は、西川区長に区独自の放射線量測定の実施など求める申し入れ、三嶋・三ツ木両副区長が対応しました。

23区中荒川区を除く22区で放射線量測定を実施、足立区などで除染も行っています。放射線被ばくの健康への影響は、「これ以下なら安全」という「しきい値」はなく、「少なければ少ないほど良い」というのが大原則です。

## 引き続き区内の放射線量を測定 今回は、尾竹橋・藍染公園など

共産党区議団は引き続き各地で測定を続けています。8月6日には、尾竹橋公園滑り台下、藍染公園砂場など4カ所を測定しました。基本的には問題がないようでホッとしています。



### 放射線量測定 (8月6日)

単位はμSv/h(マイクロシーベルト/時間)

尾竹橋公園滑り台下4:30

藍染公園砂場4:45

	1m	50cm	5cm
平均値	0.169	0.172	0.189

	1m	50cm	5cm
平均値	0.124	0.145	0.180

花の木公園ラグダ滑り台下4:58

熊野前公園滑り台下5:15

	1m	50cm	5cm
平均値	0.124	0.133	0.164

	1m	50cm	5cm
平均値	0.114	0.131	0.166

両副区長は、独自に実施しない理由について、東京都が区内一カ所を一回計測して安全という結果が出た測定は、国や東京都、専門機関が実施すべきとしています。国、東京都に実施させることは当然です。しかし、子どもをはじめ生活の場面で細かい測定を実施してこそ、小さなリスクも含めて取り除くことが可能です。やれるのはいかなる身近な荒川区区民が、また汚染した牛肉が出回り、区内の精肉関係業者への影響も心配されます。国とともに区の支援が必要で、いづれにしても区民の立場に立った区の対応を求めたいものです。

私が議員になった翌年の1996年、荒川区に安売りスーパー「オリンピック」出店問題が急浮上。出店反対の大きな運動が巻き起こったことを思い出します。その後、町屋の近くでは、ライフ、マルエツと出店ラッシュでした。そもそも日米構造協議でのアメリカ側からの大店法撤廃要求で1992年大店法が「改正」され出店自由になったためです。その後、荒川区も含めてシャッター通りが全国に広がりました。当時、無秩序な出店を許せば地域が破壊される、大型店は儲けがなくなると撤退する...など様々な問題を指摘し、法律の枠内ですが大型小売店舗の出店に際して環境アセスを求める区の要綱をつくらせました。しかし指摘の通りマルエツは撤退、コジマ、アットマート、スギ薬局



空き店舗状態の建物(スギ薬局もすでに撤退)

も撤退。事実上の空店舗でしたが、いま大型ディスカウント「ドンキ」が24時間営業で出店との話も...? 周辺は住宅地ですので、24時間営業自体どうなのでしょう。いづれにしてもまちづくりに関わる大問題です。  
(横山幸次)

## 町屋6丁目大型小売施設廃稿には何が入るの...? いずれにしても環境や地元商業との調和を大事に

まちの話題あれこれ

裏面 近隣区の放射線量測定などの取り組み...

## 定例法律相談

9月5日(月)  
午後6時~8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627

# 荒川区の周辺区は…どうなっているの 放射線量測定だけでなく除染にも動き出す

## 近隣区の一環【各区のホームページから作成】

### 足立区

区として測定値が0.25マイクロシーベルト/時以上を計測した場合、年間1ミリシーベルトを超えるものとする。



平日毎日測定 中央公園

順次測定 保育園・幼稚園・幼保園・小学校・中学校・児童館・公園

屋外プール126箇所、砂場593箇所を測定

このうち0.25マイクロシーベルト/時を超えた小中学校17箇所、保育園6箇所、幼稚園6箇所、公園6箇所を8月10日から砂の入れ替え作業

### 葛飾区

毎週、区内7カ所の公園で空中放射線測定

公立小中学校、幼稚園、保育園計185箇所の空中放射線量

学校プールの水、区のスポーツ施設の屋外プール



412施設の砂場=区立小中学校・特別支援学校・幼稚園、私立幼稚園、区立保育園、私立保育園・認証保育所、区立公園・児童遊園、区立屋外体育施設

### 台東区

学校含めたプールの水の放射線測定 連日空間放射線量の測定 学校・幼稚園等が栽培する野菜の放射能検査 公園及び観光スポット等の空間放射線量の巡回測定 保育園・幼稚園・学校施設等の空間放射線量の巡回測定

### 北区

区立小学校、区立中学校、区立保育園、私立保育園、区立幼稚園、私立幼稚園、区立公園、児童遊園及び遊び場【測定地点数】校庭・園庭等...344カ所

砂場...238カ所

学校含むプール 区内3カ所で土壌調査



放射能汚染問題では、荒川区以外の22区どういった取り組みを実施しているのでしょうか。各区のホームページを見ると詳しく掲載されています。荒川区の近隣区では、定期的な空中放射線量測定や学校、保育園、幼稚園など子ども施設、プール、砂場といった特定の場所を広範囲に測定している様子がうかがえます。その中で足立区は、独自の基準も示し、それを上回った3

5カ所の砂場の除染（砂の入れ替え）を夏休み中に行っています。ほとんどのところで高い数値は出ていないようですが、安心は確実に保証されています。さて荒川区は、こうした取り組みをどう見るのでしょうか。



## 8月6日の申し入れの全文をご紹介します

### 放射能汚染への不安の広がりに対する放射線量測定と 食品検査の実施などを求める申し入れ

荒川区長 西川太一郎 殿

福島第一原発の重大事故によって、ウラン換算で広島型原爆の20個分の死の灰が放出されたともいわれています。その死の灰=放射性物質は、大量かつ広範囲に放出され、国民、区民の中で不安が広がっています。すでに23区では、荒川区を除いて何らかの放射線量測定を実施しています。区民のみさんから「なぜ荒川区は測定しないのか」「測定して安心させて欲しい」などの声が広く聞かれます。我が党区議団は、当初から放射線量測定の実施と公表を求めて来ましたが、区はかたくなに拒否してきました。とうてい区民の納得を得ることはできない異常な姿勢です。原発事故は収束していません。放射能汚染状況を正確に把握し、実態を区民に公表してこそ、安心と必要な対策をとることができます。また、区内への避難者支援や区民の命を守る緊急対策なども急がれます。

そのため、直ちに以下の対策をとることを強く求めるものです。

### 記

- 1、区内を一定のメッシュに区切って放射線量測定を実施すること。とりわけ学校、幼稚園、保育園、通学路、公園、産科医院などきめ細かい放射線量測定を実施すること。また放射線測定は、定期的な実施し結果を専門家の協力も得て公表すること。
- 2、基準を示して、砂場、芝生、側溝など必要な場所の除染をすみやかにおこなうこと。
- 3、学校、保育園など子どもの給食食材の安全性を確保するために、区として食品中の放射性物質の測定を実施すること。
- 4、セシウム汚染牛の調査と被害を受けた小売店への損害賠償を国に要求するとともに区として対策を講じること。
- 5、区内に避難してきた方への長期的支援体制とネットワークづくりを区民、社会福祉協議会などの協力も得てすすめること。
- 6、再生可能エネルギーの区内への導入促進を抜本的に強化すること。
- 7、家具転倒防止支援事業を実効性が上がるように改善すること。

2011年8月15日 日本共産党荒川区議会議員団